第６号

仙台市障害者就労支援センター通信
はたらくネット

平成２４年１月　　編集・発行　仙台市障害者就労支援センター

はたらくみなさんに
聞きました！

あなたにとって「はたらく」とは？

障害のある方を雇用している企業の方、働いている障害のある方、障害のある方の就労支援をしている職員の方、それぞれに「はたらく」とは何かを聞いてみました。

《地域貢献》

株式会社ホンダカーズ宮城中央

代表取締役社長　松倉勝弘さん

震災があって、とにかく地域を元気にしたいという気持ちがすごくありますね。これほど強く思う年もないです。自分としては「地域貢献」というところを雇用も含めてやっていきたい。

《自分のため･会社のため･お客さんのため》

合同会社西友　五橋店　近藤沙織さん

新商品を覚えてお客さんを案内できた時が嬉しいです。

《エネルギー》

ウイングル仙台宮城野センター

ジョブコーチ　畠山さん

働くことは、人生の全てを動かすエネルギーだと思います。

《チャンス》

ウイングル仙台宮城野センター

ジョブコーチ　藤井さん

小さなことでも自分にできることが増えていくことが嬉しいですし、様々な「チャンス」に繋がっています。

エネルギー

チャンス

みなさんの「はたらく」とは？　一人ひとり違いますね。次号も、様々な方にこの質問を投げかけていきます。

目次：
あなたにとって「はたらく」とは？　・・・１ページ
企業に聞きました「株式会社　ホンダカーズ宮城中央」　・・・２～３ページ
クローズアップおっきな輪　「ウイングル仙台宮城野センター」　・・・４ページ
〈求職中の方へ〉〈就労支援をしている方へ〉〈雇用を考えている企業の方へ〉　・・・５～７ページ
仙台市障害者就労支援センター利用案内　・・・８ページ

企業に聞きました

❐株式会社ホンダカーズ宮城中央
　写真右より
代表取締役社長　松倉勝弘（まつくら　かつひろ）様
総務課長　柴田俊雄（しばた　としお）様
（取材日　平成 23 年 12 月）

平成23年11月より精神障害のある方3名の雇用を開始した株式会社ホンダカーズ宮城中央。松倉代表取締役社長と柴田総務課長に障害のある方の雇用を開始するまでの経緯や雇用開始後の状況などについてうかがいました。

― なぜ、障害のある方の雇用をはじめたのか？―

話：松倉代表取締役社長

～静岡浜松での Honda ディーラー社長時代から～

実は 8 年前、静岡の浜松で Honda ディーラー社長時代から障害のある方の雇用を何度か試みているんです。

イメージですけど、障害のある方は「働くのは嫌だ」「外に出たくない」とか思うのかなと思ったのですが、全くの逆。「一生懸命働いて自分のいきがいを見つけたい」という声をたくさん聞かせていただきました。今生活保護を受けている方(で働いていない方)、たくさんいらっしゃいますよね。その状況が自分は「嫌なんだ」と「生活保護ではなく、自分の力で自分の稼いだお金で生活したい」と。そんなにたくさんの給与を払えるわけじゃないから生活は変わらないかもしれないと言っても「変わらなくても働きたい」「働く場所が欲しい」と、働きたい気持ちがすごく強い。そういう場所を企業が提供していくことはとても大切だと思いますし、そのために法律もあるのだろうと思っています。

～度重なる失敗に悔しい思いを～

でも、いつもうまくいかなかった。当時は洗車要員として身体障害のある方を雇用していたのですが、続かなくてね。寒くなると洗車は辛い。でも「一時間に一回は中に入って暖まるように」と言っても休まない。結果本人から「自分にはこの仕事を続けることが難しい」と辞めていかれてしまうのです。何度もそういうことを経験して、とても悔しかった。本当に良い人たちばかりでしたから。こちらとしてはなんとか続けて欲しいと思うのですが、一生懸命頑張りすぎて自分で自分を追い込んで続けられなくなってしまうんです。

実は、仕事では教えられることが多いのかもしれませんが、仕事以外では社員たちの良い相談相手になってくれるんですよ。障害のある方の人生経験というのはとても貴重で、色々な辛い経験もされています。年配の男性は若い社員たちから父親のように慕われていました。また、そういう方たちと一緒にいると人間が優しくなると私は思っています。実際に部下たちの変わっていく様を見てきましたし。職場としても人間としても学ぶものが多く、一緒にいることで視野がとても広くなり、周りが成長させられるのです。だから、自分の中では「いつか必ず障害のある方の雇用をするぞ」という風にずっと思ってきたんです。

～3・11 東日本大震災からの決意～

今回雇用を開始する決意に至った一番のきっかけは震災ですね。あの震災で社会貢献というか**地域社会に何が貢献できるんだろう**って考えるようになりました。車には福祉車両ってあるんですよね。でも肝心の障害のある方を雇用していないじゃないかって。雇用率も 1．8 パーセントを達成していませんでしたし。今こそ、そういうことに力をいれるべきなんだと思いまして。それで今回 3 名の方の雇用をはじめたわけです。

― 一緒に働く社員の方々から不安の声はなかったのですか？

柴田　特にそういったものはなかったですね。

社長から店長会議の場で何度も「これから障害のある方の雇用をしていくぞ」と話しがあり、十分に説明をしていますし、各店舗の社員にも店長から伝えられています。

障害のある方の雇用を考えていた当初は軽度の身体の方の雇用をイメージしていましたが「求職者は精神障害のある方が多い」と聞き、精神の方の雇用を勧められましたが、雇用イメージが湧かず、お話だけでは決断できませんでした。でも、見学・実習と実際に職場に来てもらい、話をして雇用イ

メージがはっきりと見え、今回 3 名の精神障害のある方を採用させていただきました。

3 名の方を採用してすぐに全社員ミーティングがあり、その場で自己紹介を兼ねて本人たちからあいさつをしてもらったんです。それがとても良かったようですね。本人たちには「自分も社員の仲間入りをした」という意識付けにもなったようですし、その場でみんなと会食をして、とても打ち解けたようです。その後も毎日食堂で楽しく話をしながら昼食をとっていますし、それぞれ上手にコミュニケーションはとっていると思います。

― 過去の失敗から今回の 3 名の雇用にも同様の不安がありますか？

松倉　長時間集中できないということもあると思うので、無理はしないでほしいというのが実はこちらの想いなのですが、そういう方に限って本当に集中してやってしまうんですよね。どうやってそういうのを和らげると良いかというのが難しいところです。ただ、今回は支援センターさんに雇用前から間に入っていただき、何かあったときに相談できるところがあります。まだ雇用して 1 ヶ月です。今は支援センターさんに相談するようなことはありませんが、課題が出てきたらそのときは本当にフォローをお願いしたいと思っていますし、お願いするようにとも言っています。

柴田　そうですね。私としても本当に未体験ゾーンなので、間に支援センターさんに入っていただいたことによって、非常に安心感があるんですよ。何かあったら支援センターさんに相談すればなんとかなると思っていますし。そういう意味で、今回こういった流れで採用できたことは本当にありがたいですし、自分としても助かってるなあと感じます。

松倉代表取締役社長からのメッセージ

これから就職を目指す障害のある方たちへ

今まで係ってきた障害のある方々はとても一生懸命でまじめなので、もう少し気持ちに余裕を持って来ていただけると嬉しいです。

障害のある方の雇用をはじめる企業のみなさんへ

偉そうなことは言えないですが、社会の中には 1 つの縮図があって色んな方がいて社会が成り立っています。最初は分かってもらえないことがあったとしても、どこで人は化けるか分からない。そこに期待しても良いのでは。期待がないと採用しづらいですし。

障害のある方の就職支援をしている人へ

非常に難しい仕事だと思うのですが、正直なところ色々な機関があって、どういうことをするのか良く分からない。そこに企業は不安を覚えるのではないでしょうか。こういった機関紙などを使って私たちが知らない色々なニュースだとか「こういう相談もできますよ」といった具体的な情報を発信していってほしいと思います。

《ホンダカーズ宮城中央で平成 23 年 11 月から働きはじめた千葉さんのお話》

ずっと仕事を探してきたので仕事をすることの喜びが日々ふつふつと湧いてきますね。毎日出勤することが楽しみです。周りの人との関係も全く問題無いですね。普通に接してもらえるのが一番楽です。分からないこともちゃんと教えてもらっていますし。

― 何か失敗談はありますか？

一度寝坊をしました。すぐに会社に電話をして謝って、許してもらいました。あれは二度と経験したくないですね。あとは、前の仕事の癖で、初日に昼食を 5 分で食べて席に戻って仕事をしたんです。そしたら「ちゃんとお昼は 1 時間とってくださいね」と言われ、それからは 1 時間休憩をとるようにしています。

― 就職する前は何をしていたのですか？

就労移行支援事業所スイッチセンダイに 3 ヶ月いました。そこで履歴書や職務経歴書の書き方、面接の練習をしました。ホンダカーズを受けると決まってからは 2 週間の間、多いときで 1 日 5〜6 回面接練習をしました。面接練習では毎回違うことを聞かれました。おかげで、だんだん自分の中から出てくる言葉で答えられるようになり、本番も自分の言葉で答えることができました。

学んだことは、きれいに作った答えだと突っ込まれたときに答えられない。ちゃんと自分で考えて自分の言葉で答えたほうが良いということです。

― これから就職活動をする人たちにメッセージを

面接練習、筆記の練習にしても、努力したことは絶対に身になって力になるので、どうせだめだとかそういう考えじゃなくて、何事にも努力を惜しまないでほしいです。

― これからの目標を教えてください。

身近な目標としては仕事を早く覚えて、今の仕事で一人前になりたいですね。

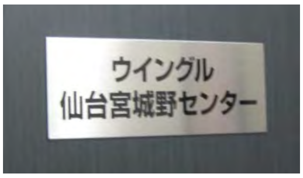
クローズアップ　おっきな輪

仙台市障害者就労支援センターでは、就労移行支援事業所等の関係機関との連携を密に図り、就労を目指している障害のある方、または、現在働いている障害のある方の支援を行っています。

その一環として、機関誌で様々な就労移行支援事業所の特色や就労移行支援事業所から就労した方についてシリーズで紹介していきます。

「平成22年度　福祉施設から一般就労への移行者数」仙台市内第1位の就労移行支援事業所

就労移行支援事業所　ウイングル仙台宮城野センター



エリアコーディネーター・中村さん（右）
サービス管理責任者・服部さん（左）にインタビューしてきました！

Q1：活動内容について教えてください！

A：　コミュニケーションのプログラムや、就職活動系のプログラム、就職してから必要なビジネスマナーのプログラムがあります。また、事務職のトレーニングとしてパソコンの研修もあります。

～１日のスケジュールの例～

①	１週間の予定作成
②	模擬面接
③	館内の清掃
④	ビジネスマナー

利用者さんが参加したいプログラムを自分で選んで予定を立てます。研修の講師は職員がしています。

空き時間は課題であるタイピングの練習や、書類作成をしたり、自己分析シートをまとめたりしています。

Q2：ウイングル仙台宮城野センターの特徴は？

A：　就職するための訓練をしているので、室内は企業のオフィスをイメージしています。

また、ウイングルは全国に事業所があり、平成22年度の就労者は201名、23年度は330名（H23.11.14現在）が就労に結びついています。

利用者の皆さんは「就職したい」と気持ちが強いですね。一人が「就職しよう」と意識が高いと、周りの利用者さんも引っ張られて、宮城野センター全体で就職活動の意欲が高まって、活発な就職活動につながっています。

Q3：仙台市障害者就労支援センターはどのような時に活用していますか？

A：　利用者さんは就職活動について相談に行くことが多いです。

また、「ホンダカーズ宮城中央」に就労した方の場合、仙台市障害者就労支援センターが開拓した求人情報を教えていただき、業務内容やマイカー通勤という条件に合う方がいたので応募し、見学・実習後、平成23年11月1日から就労されています。

障害者就労支援センターのサポート講座も活用しています。「就職のときはこうですよ」とアドバイスがあると、利用者さんはわかりやすいようです。「ホンダカーズ宮城中央」に就職した方もサポート講座を受講していましたね。受講した皆さんは、就職活動に対して前向きな気持ちになるようですよ。

Q4：今後、就労を目指している方へのメッセージをどうぞ！

A：　自分のなりたい姿とか、働きたいという意志がある方は就労につながっています。ウイングルも一緒に応援させていただきたいと思います。

ウイングル仙台宮城野センター
住所：〒983-0852
仙台市宮城野区榴ヶ岡5−1−23
仙台Kビル１階
電話：022−298−7540
開所日：月～土　**開所時間**：9時～18時

泉中央駅に
平成24年2月
移転予定！

ウイングル仙台泉センター
住所：〒981-3203
仙台市泉区高森2-1-40
21世紀プラザ研究センター3階
電話：022−772−0557

#《求職中の方へ》《就労支援をしている方へ》

就職活動サポート講座を開催しています

希望に合わせたサポート講座を開催することで、はたらくための職業準備をお手伝いしています。

９～１２月のサポート講座実施状況	
就労移行支援事業所向け	７回
企業見学会	４回

⌗ 「ふれあいワークフェア２０１１
障害者就職面接会」対策講座（支援者向け）

9月6日（火）　参加者31名

場所：ハローワーク仙台

内容：仙台市内において障害のある方の就労支援を行っている支援者の方を対象に面接会で、支援者が面接に同席することを想定したロールプレイを行いました。

⌗ 「ふれあいワークフェア２０１１
障害者就職面接会」対策講座（参加者向け）

9月21日（水）　参加者44名（他支援者22名）

場所：ハローワーク仙台

内容：仙台市内にお住まいで、「ふれあいワークフェア２０１１」に参加予定の方を対象に事前準備として、履歴書の書き方、面接会のポイントの講話と、当日と同じ環境に近づけた形での模擬面接を行いました。

上記の他、以下の各施設の依頼内容に応じて「はたらく～障害者の自立と社会参加～」「就労継続におけるセルフマネジメント」「障害と付き合いながら働く」「就労後の相談先」「はたらきたい！はたらける？～はたらく準備についてきいてみよう～」等のタイトルで講座を行いました。

- ⌗ 10月29日（土）【参加者40名、対象：ぴあ☆はうす祭り参加者】
- ⌗ 10月30日（日）【参加者7名、対象：ウイングル仙台宮城野センター利用者】
- ⌗ 11月28日（月）【参加者6名、対象：みはるの杜診療所デイケア利用者】
- ⌗ 12月18日（日）【参加者3名、対象：ウイングル仙台宮城野センター利用者】
- ⌗ 12月19日（月）【参加者10名、対象：地域活動支援センターてれんこ、もぐもぐ利用者】

２月14日(火)開催「ふれあいワークフェア」に向けた対策講座は、２月に開催予定です！
詳細は別途、関係機関へご案内いたします。

その他サポート講座は、各施設を対象に、ご要望に応じて開催します。
内容は「社会人としてのマナー」「企業見学会」「就労に関する支援サービス、制度について」「就労支援ノウハウ講座(支援者対象)」など。
就職活動を行う準備として、ぜひご活用ください！

《就労支援をしている方へ》

連絡会議を開催しています

各種連絡会議を開催することで、仙台市内の就労移行支援事業所のスキルアップ、障害のある方の就労を支援するためのネットワーク作りを行っています。

❒発達障害者就労支援連絡会議

第２回　９月 16 日(金)16:00～18:00
参加者 54 名
場所：庄建上杉ビル５階第１会議室
対象：仙台市内の障害のある方の就労支援に関っている機関

第３回　11 月 19 日(土)14:00～16:00
参加者 137 名
場所：泉区役所東庁舎５階大会議室
対象：発達障害に興味関心のある方

第３回では

「成人期発達障害者の現状と課題」と題して講師に社会福祉法人横浜やまびこの里　横浜市発達障害者支援センター　相談員　柴田珠里氏を迎え公開講座を行いました。

関係機関・支援者・発達障害のある方・市民の方より率直な意見をたくさんいただき、ありがとうございました。次年度もさらなるスキルアップとネットワーク作りを目指して本連絡会議を行ってまいります。

≪開催報告≫

上記の連絡会議の他にも、障害別や就労移行支援事業所の支援者の業務内容別（開拓担当の方、ジョブコーチ支援担当の方を対象）に連絡会議を開催しています。(10月～12 月は右記の連絡会議を行いました。)

❒就労先･実習先開拓担当者連絡会議
- 第７回　10 月　参加者 23 名
- 第８回　11 月　参加者 20 名
- 第９回　12 月　参加者 15 名

❒高次能機能障害者就労支援連絡会議
- 第２回　11 月　参加者 20 名
- 第３回　１月

❒視覚障害者就労支援連絡会議
- 第２回　11 月　参加者 14 名

❒ジョブコーチ連絡会議
- 第３回　10 月　参加者 10 名
- 第４回　１月　参加者６名

≪今後の開催予定≫

❒就労先･実習先開拓担当者連絡会議

⇒第 11 回を２月、第 12 回を３月に開催します。
開拓担当の方はぜひご参加ください。
参加申込は、仙台市障害者就労支援センターまで。

その他の連絡会議については平成 23 年度は終了いたしました。たくさんの方にご参加いただきありがとうございました。

平成 24 年度も引き続き開催します。
日程等については詳細が決まりましたら各関係機関にご案内します。
ぜひご参加ください！

《雇用を考えている企業の方へ》《求職中の方へ》《就労支援をしている方へ》

就職活動しています

様々な企業の職場を見学・実習し、自分に合った仕事を探します。

求職者の要望・雇用を考えている企業の要望を受けて、企業見学会・企業実習を行っています。

◎「どんな会社？どんな仕事？」仕事のイメージがわかない方。

◎「障害のある方の雇用を考えているが、どうやって雇用まで進めていくといいのだろう」という企業の方。

企業見学会・企業実習を行ってみませんか？

（右記は 10 月～12 月の実施内容です。）

❒企業見学会

10 月　実施数 4 社　参加者 25 名

見学業務内容：清掃、クリーニング、冠婚葬祭、介護

11 月　実施数 5 社　参加者 17 名

見学業務内容：事務、スーパーのバックヤード、部品洗浄、介護

12 月　実施数 6 社　参加者 31 名

見学業務内容：清掃、倉庫内軽作業、農業、部品洗浄

❒企業実習

10 月　実施数 1 社　参加者 10 名　<u>内定者6名</u>

実習業務内容：事務

11 月　実施数 2 社　参加者 4 名　<u>内定者1名</u>

実習業務内容：清掃、部品洗浄

12 月　実施数 2 社　参加者 6 名　<u>内定者2名</u>

実習業務内容：清掃、部品洗浄

一般就労している方への余暇支援として…

仙台市内在住の一般就労されている障害のある方の余暇の充実を目的に、
「第 4 回はたらく障害者のつどい」を開催しました！！

日時：12 月 25 日（日）10：00～12：30

場所：宮城野障害者福祉センター

講師：岡本パンスタジオ　岡本牧子先生

内容：①料理教室「炊飯器でクリスマスケーキを作ろう」
　　　②フリートーク「働き続ける上で大切なこと」

仙台市内で一般就労されている 8 名の方が参加。自宅でも簡単にできる、炊飯器を使ったケーキ作りをした後、ケーキを試食しながらフリートークを行いました。フリートークでは、「私は挨拶を心がけている」「勉強するなど向上心が大切」などそれぞれが働く上で心がけている点を発表し、互いに参考にしている様子が見られました。参加者からは次回の開催日程や内容を聞かれ、「また料理を作ってみんなで悩みを話しながら、食べたりしたい」という声をいただきました。みなさんの期待に応えられるよう、様々な内容の「つどい」を企画していきたいと思います。

仙台市障害者就労支援センター利用案内

■ **利　用　時　間**：

	月曜日～金曜日	土・日・祝
窓口での相談	８：３０～１７：００	休み
電話相談・移動相談	８：３０～１９：３０	８：３０～１７：００

※　土日祝日は各区にある障害者福祉センターなどにおいて「移動相談窓口」を設けます。

※　移動相談の日程は、市政だよりに掲載しています。

■ **相　談　方　法**：来所・電話・ＦＡＸ・Ｅメールにて受け付けております。

※　来所は原則として予約制です。事前にセンターまで希望日時をお知らせください。

こんな相談をお受けします。

〈障害のある方〉

○　働きたいのですが、何をどうしたらいいか分かりません。

○　仕事はどうやって探したらいいですか？

○　仕事を辞めてしまって、どうしたらいいか分かりません。

○　仕事がうまくできなくて困っています。

〈企業･事業所の方〉

○　障害のある方を雇用しようと思うのですが、どんな配慮が必要ですか？

○　障害のある方を雇用する際に利用できる制度はありますか？

○　障害のある方の雇用を続けるための工夫や環境整備の仕方を教えてください。

■ **費　　用**　：相談・支援サービスは無料です。

※　実習等にかかる交通費、食事代等は実費負担があります。

■ **対象となる方**：仙台市にお住まいの 15 歳以上の障害のある方で就労希望、もしくは就労中の方。

※　ご家族・事業主様からの相談もお受けします。　※　障害者手帳の有無は問いません。

■ **ア　ク　セ　ス**：

10月から勤務している新職員を紹介します！

チャレンジオフィスジョブコーチ

丹野　理恵

仙台市役所のジョブコーチとなりました。

チャレンジメンバー3 名と共に頑張ります。

発行：仙台市障害者就労支援センター

（指定管理者：財団法人仙台市障害者福祉協会）

住所：〒981－3133　仙台市泉区泉中央２丁目 1－1

泉区役所東庁舎 5 階

電話：022－772－5517　ＦＡＸ：022－772－5519

Ｅメール：info@sendai-wsc.jp

Ｈ　　Ｐ：http://www.sendai-wsc.jp

編集後記

今年は、３・１１の大震災からの復興が大きな課題になっています。また、障害者制度改革が進められています。この核心たる障害のある方の社会参加・自立支援にとって就労は大切な課題です。誰もが互いに尊重し、支え合いながら、生きがいを持って自立した生活を送ることが出来るまち・仙台の実現の一助となるよう努めたいと思います。　仙台市障害者就労支援センター　所長　諸橋　悟